

森秀子さん・大塚

焼き物では、去年の市展から無鑑査に。今年四月には、去職を退き、焼きたての生活を考えていました。



平田修三さん・奈路



焼き物との出会いは、二十数年前、子供への教育に取り入れてから。土をこねるのが嫌いな子供は一人もいませんでした。3年間は、障害児教育に携わりましたが、

手先を使うことが情操の発育に大切なことを実感しました。生徒の中から花の絵のコンクールで、全国表彰を受けたことが思い出。今は、児童館の焼き物教室の手伝いなどをしています。

サッカーを始めたのは十二歳のとき。何もかも忘れてプレーできるし、みんなで助け合いながらゴールを目指してかく汗は、とても気持ちがいいですね。

広い視野で地域や自分たちを見直したいと思い、海外でサッカーを通じた交流を行うことを決意。五年前からチームで少しずつ積立をしてきました。

パリ島への出発はもう間近。いよいよ上陸練習の開始です！

平田さんは奈路サッカー部部長。「ふるさと見聞録」でサッカー観戦試合のため来年一月パリ島へは発します。

## 戦後の解放運動・教育・行政が どのように行われたか ②

福祉教員制度のはじまり

「すべて国民は、法律の定めるところにより、その保護する子女に普通教育を受けさせる義務を負ふ。義務教育はこれを無償とする。」と新憲法第二六条にうたわれていました。

アメリカ教育視察団の勧告を受け、日本政府は、一九四七（昭和二二）年から六・三制の新しい義務教育制度を作りました。以前の高等小学校、青年学校は廃止され、三年制の新制中学校がスタートしたのです。

この制度はすべての国民がきちんとした教育を受けることを保障したすぐれた制度でしたが、戦後のどん底生活をしてきた部落の人々にとって大きな負担となり、学校へ子どもをやれない家庭も多かったのです。

この実情をみかねた長岡村の有志（溝淵信義他）は、知事や県教育委員会にたびたび陳情し、一九四八（昭和二三）年に庵ヶ池中学校に二名の定

数外の教員を試験的に配置してもらいました。

特別に加配された教員（福岡・谷村岡教諭）は、長期欠席や不就学生徒を就学させるため、親・子ども面接をし、悩みを聞き、休みもなく、日夜、地区を駆けめぐりました。また、学校にかけぬぐりま

### 同和教育 シリーズ

その結果、当時庵ヶ池中学校に在籍していた一六〇余名（全校生徒約六〇〇名）の長期欠席・不就学生徒のほとんどを就学させることに成功しました。

その翌年には、朝倉中学校にもし名の教員（谷内教諭）が配置され、七一名の長期欠席・不就学生徒を完全に解消

し、その成果は新聞紙上に大きく報道されました。

この両校のすばらしい成果を高く評価した県教育委員会は、一九五〇（昭和二五）年に全国に先がけて、福祉教員制度を発足させ、県下に一八名の福祉教員を配置しました。

福祉教員が苦勞して登校させた生徒たちは、長年の長期欠席・不就学により学校生活になれておらず、学力もきわめて遅れた子どもたちが多かったため、この子らに対して、校長以下全教員が、遅れた学力の補充や学校生活になじませるための諸々の施策に取り組み、学校生活への定着に努めました。

当時の福祉教員たちが、これら長期欠席・不就学生と取り組んだ記録が一九五二（昭和二七）年、「今日も机にありの子がいなし」として発表され、全国の仲間を感動させました。

今日でも全国同和教育研究協議会では、この言葉を合言葉にして取り組んでいます。